

# 令和6年度 第39回柔整旗争奪全県小学生柔道大会 実 施 要 項

1. 目 的 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、将来を担う大会参加者相互の親睦を図り、並びに柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
2. 主 催 公益社団法人 秋田県柔道整復師会
3. 共 催 秋田県柔道連盟
4. 後 援 秋田県 秋田県教育委員会 (公財)秋田県スポーツ協会 秋田市  
(予定) 秋田市柔道連盟 秋田魁新報社 NHK秋田放送局 ABS秋田放送  
AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送
5. 日 時 令和7年2月23日(日) 午前8:00～受付  
午前9:00～審判監督会議  
午前9:30～開 会
6. 会 場 秋田県立武道館 【秋田市新屋字砂奴寄2-2 TEL 018-862-6651】

## 7. 大会規定

- (1) 小学生団体戦のみとし、スポーツ少年団、又は道場、クラブ単位とする。小学生は5年生以下として、チーム編成は、先鋒3年生、次鋒・中堅4年生、副将・大将5年生とし、下位学年の者が上位学年に出場することも可能である。
- (2) チーム編成をする上で選手が5人に満たない場合は、団体所在地が同一市町村内であれば合同チームを認めることとする。但し、勝敗にこだわり選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合にはそのチームを失格とし、本大会の参加を認めない。
- (3) チームの人数は、監督1名、コーチ1名、選手5名、補欠3名以内とし、試合ごとに選手の位置を変えることはできない。
- (4) 選手の配列は、大将から高学年、体重の重い順とし、上位学年に下位学年の者が出場する際も同じである。補欠を選手として繰り入れる場合も同様とする。
- (5) 試合当日の選手変更は所定の様式により手続きをすること(申込み以後の選手、補欠の補充は認めない)。
- (6) 各出場チームのスポーツ少年団長及び道場主は、チーム全員の保護者の同意を得なければならない。
- (7) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各チームの責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。

※新型コロナウイルス感染症については、健康観察票の提示や、検温等はいりませんが、各自十

分に留意すること。

(8) 「脳震盪対応について」～選手及び指導者は、下記条項を遵守すること。

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること）。
- ③ 練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(9) 監督・コーチは、全日本柔道連盟からの「試合場におけるコーチの振る舞いについて」平成24年4月1日付け通達（別紙参照）に従って行動すること。監督・コーチは、審判員に準ずる服装で入場すること。

(10) 東北大会、全国大会について

- ① 優勝・準優勝チームは、来年度の(公社)日本柔道整復師会東北ブロック会第31回東北少年柔道大会に秋田県代表として派遣する。
- ② (公社)日本柔道整復師会第34回日整全国少年柔道大会秋田県代表選手は、選考委員会において内規により選出する。

(11) 出場チーム、選手、監督・コーチは、全柔連に登録していること。

## 8. 試合方法【団体戦】

- (1) 団体戦トーナメント戦で行う。
- (2) 国際柔道連盟試合審判規程（2022～2024）及び国内における「少年大会特別規程」による。
- (3) 勝敗の判断基準は次の通りとする。

団体試合の個々の試合においては、「技あり」以上又は「僅差（指導の差2）」とする。優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

団体試合	「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差2」
------	------------------------

（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）

（「指導」数に差が出て引き分けになる例＝0対1、1対2）

- (4) 団体戦において同点の場合は、内容によって勝敗を決する。内容も同じ場合は、任意選手による代表戦を1回行い必ず勝敗を決する。尚、本戦は（3）に準ずるが指導差が2に満たない場合時間無制限のゴールデンスコア方式を適用する。
- (5) 柔整旗争奪小学生柔道大会申し合わせによる。
- (6) その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。

9. 試合時間 2分とする。

## 10. 抽選方法

主催者において県柔連、当会担当理事立会のもと、抽選を行うので一任の事。  
前回ベスト4以上のチームをシードとする。

